

部署名：A3F/MFICU



♥いいね わたしたちの仕事♥

～部署の課題にチームで取り組む～

当科は総合周産期母子医療センターの役割を担っており、ハイリスクな症例が多くみられます。分娩や産褥の危機的出血の対応、出生直後の児の処置に関して、全スタッフが確実な技術を身につけるため、分娩介助などの練習を行っています。また、複雑な背景をもつ患者さんも多いことから、質の高い看護を提供する目的のもと、多職種カンファレンスを行っています。さらに、勉強会を企画し知識を習得することで、科学的根拠に基づいたケアを提供できるよう努めています。



分娩介助演習の風景



部署名：A3F/MFICU



♥心に残る エピソード♥



妊娠29週で緊急帝王切開となった患者さんを、術後当日の夜に受け持ちました。深夜訪室すると流涙されていて、タッチングを行いながらお話を伺うと、妊娠29週という早い時期にお産となり、自責の念を抱いていることがわかりました。そのため、患者さんが頑張られたことを一緒に振り返ることでお産を肯定的に捉えられるよう支援しました。その後、患者さんはお産の振り返りの用紙に私自身に対する心に残るメッセージを残してくださいました。そのメッセージは今でもお守り代わりに身に着けています♪

